

「子どもたちの安全は地域で守ろう！」 『子どもたちの安全を考える懇談会』に向けた青少年育成部会の取り組み

六月一日発行の『三春わが街』号外でお知らせしたとおり、六月十八日三春まちづくり協会主催の『子どもたちの安全を考える懇談会』が開催されました。これは、平成十七年度協会全体事業の一つですが、子どもの健全な育成と安心して暮らせるまちづくりを目標とする青少年育成部会の担当課題として部会が中心となって取り組みました。

☆いま、子どもたちが危ない！

全国で小・中学生の登下校時における不審者や異常者による傷害事件、声かけ事案あるいは交通事故等の不安な事例が多く発生しています。三春町でも不審者による声かけ事案が数件発生していることが報告されています。また、通行危険箇所や防犯灯、積雪時の除雪等通学路にかかわる不安全要素に対する改善検討の要望も出されています。

☆三春まちづくり協会の取り組み

三春まちづくり協会では昨年度から課題解決型の取り組みとして、地域に密着した課題について担当部会が中心となって勉強会や懇談会を開催し、現状の把握から課題解消に向けた活動を展開しています。

☆青少年育成部会の取り組み

青少年育成部会では協会を開き、取り組みの進め方について協議を重ねました。子どもたちの安全の問題については、警察、教育委員会、学校、PTA、地区字委員会等がそれぞれの立場で対策を実施したり、検



事前検討をする青少年育成部会

討したりしています。しかし、子どもたちの安全を守る取り組みは日常的に、かつ継続して実施されなければ真の効果は期待できません。それには個別の取り組みではなく、地域全体の取り組みとして進める必要があると考えます。

地域全体の取り組みとするためにはどのようにすべきか、まちづくり協会はどのような役割を果たすことができるのかなどを検討するため『子どもたちの安全を考える懇談会』を開催し関係各組織、団体との意見交換を行い具体的な対策の検討を進めることにしました。

☆懇談会には町長、教育長も出席！
六月十八日午後七時から三春交流館まほら二階和室において、三春まちづくり協会主催の『子どもたちの安全を考える懇談会』が開かれました。



子どもたちの安全を考える懇談会

六月十八日午後七時から三春交流館まほら二階和室において、三春まちづくり協会主催の『子どもたちの安全を考える懇談会』が開かれました。

五月二十二日、昨年に引き続き、三春の散策路の探訪を行いました。今回のコースは桜谷散策路↓福聚寺↓愛宕神社・龍隠院です。



きれいに手入れされた散策路

☆今後の地域の取り組みに向けて

懇談会は、小澤三春小PTA会長（青少年育成部会）の司会で進められ①教育委員会から町内各学校の安全管理に対する現状と課題②三春小・中学校からは教育現場の取り組みと課題③各字から地域の取り組みの実践例や今後の活動内容④今後の地域の取り組みに対する意見・要望等について説明や提案を受けて話し合いがされました。

懇談会の総括や今後の具体的な取り組みについては青少年育成部会が継続して取りまとめます。それらの内容については九月一日発行『三春わが街』に特集してお知らせする予定です。

地域部会だより

五月二十二日、昨年に引き続き、三春の散策路の探訪を行いました。今回のコースは桜谷散策路↓福聚寺↓愛宕神社・龍隠院です。

四月、朝、犬の散歩をしている時、黄色の帽子をかぶりピカピカのランドセルを背負った小学一年生の男の子とその兄に会いました。男の子は泣いていて、兄は困っていました。

編集後記

四月、朝、犬の散歩をしている時、黄色の帽子をかぶりピカピカのランドセルを背負った小学一年生の男の子とその兄に会いました。男の子は泣いていて、兄は困っていました。話を聞いてみると「朝寝坊をしたためお母さんがいつてらっしゃいのチューンをしてくれなかった」ということでした。

そこで「明日の朝、早起きできたら、今日の分のチューンと二つだね」と言ってみたら、男の子はとたんにニッコリして、兄と一緒に学校へ行く道を歩き出しました。

現在、子供たちを取り巻く環境は少子・高齢化、情報化、国際化、地域社会の変容などにより大きく変化しています。

結果として、虐待、ひきこもりなどいろいろな問題もたくさんおきています。心が暗くなるような社会の中で、このようなほほえましい出来事に出会えて嬉しくなりました。

家庭、地域社会などの中で、たくさんの方に包まれた子供はきっと愛を大人達にお返しするでしょうね。それで大人は心が穏やかになるのでは・・・と思えた朝でした。（降矢）

コミュニティだより
「三春わが街」第三十七号
発行日 平成十七年七月一日
発行 三春まちづくり協会
編集 三春まちづくり協会
広報部 会
三春町字大町一七八
(六二) 三九八